



先端生命科学のデュアルユース性

大学院集中講義

自然史科学特別講義Ⅳ

(1単位)

本講義における「デュアルユース性」とは、人類や自然環境に対して、ときに恩恵を、ときに損害を与え得る科学技術の「用途における両義性」を指します。

本講義では、近年目覚ましい発展を遂げる先端生命科学を対象として、その基本的な見方や知見を習得するとともに、自身の意見の言語化能力、さらには他者との対話能力の養成を目指します。

そのために、レゴ®を用いた対話型ワークショップ「レゴ®シリアスプレイ®」を用いて、各自のデュアルユース性に関する認識や含意をレゴ®で作品化することにより、その理解を深めます。そして作品の共同制作を通じて、主観的観点のみならず複眼的観点から、先端生命科学の利活用において、どのような社会像が望ましいかについて議論します。

※「科学技術のデュアルユース性とELSI」と併せた受講を強く推奨します

日時： 2023.9.4月-5火 (1-4限)

場所： 理学部5号館 (予定)

講師： 三成寿作 (京都大学)

村山一将 (札幌日大高校)

担当： 川本思心 (北大院理 自然史科学)

ssn@sci.hokudai.ac.jp 詳細はこちら

